

日本生命によるニッセイ・ウェルス生命保険株式会社への増資
および劣後ローンによる融資の実施について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「日本生命」）は、連結子会社であるニッセイ・ウェルス生命保険株式会社（社長：井本満、以下「ニッセイ・ウェルス生命」）による第三者割当増資を引き受けること、および同社に対して劣後ローンによる融資を行うことを決定しました。

日本生命グループは、市場環境の変化やお客様ニーズの多様化に対応すべく、グループ内の元受保険会社それぞれの強みを生かしたチャネル強化・拡大、および商品・サービスの提供を通じ、国内保険市場の深耕に努めてきました。

グループの金融機関窓販事業を担うニッセイ・ウェルス生命（2018 年 5 月に日本生命と経営統合）は、優れた商品開発力や、証券会社・銀行等との強固な関係により、これまで順調に成長・発展してきました。2021 年 10 月には日本生命の 100%子会社となり、一層のシナジー追求等に取り組んでいます。そうした中、ニッセイ・ウェルス生命の持続的かつ力強い成長に向けた財務基盤の強化を目的とし、日本生命より増資および劣後ローンによる融資を行うこととしました。

なお、2022 年度に入り、海外金利の上昇等を受け、ニッセイ・ウェルス生命の法定ソルベンシー・マージン比率^{※1}が低下していますが、これは、資産・負債の評価方法の違いに起因するものです^{※2}。現時点で、同社の法定ソルベンシー・マージン比率は依然として高い水準を確保しており、保険金支払能力が懸念されるような状況にはありません。

引き続き、日本生命グループとして、確実に保障責任を果たすことに加え、金融機関窓販マーケットにおけるお客様からのご要望に幅広くお応えし、グループ事業の収益拡大、ご契約者利益の持続的な拡大に努めてまいります。

※1 大規模な自然災害等、通常予測できる範囲を超える諸リスクの合計額に対する支払余力を示す、保険会社の健全性を表す指標。

※2 法定ソルベンシー・マージン比率の算出にあたっては、資産は時価評価する一方、保険負債（責任準備金等）は簿価で評価。外貨建て商品を主力とするニッセイ・ウェルス生命において、海外金利の上昇等により、保有する外国債券等の評価額が大幅に減少し、当該比率が低下（2022 年 9 月末時点：398.6%（対 2022 年 3 月末 ▲340.2pt））。

<増資の概要>

1. 発行株式数	50,000 株
2. 発行価額の総額	500 億円
3. 払込日	2022 年 12 月 27 日（予定）
4. 増加する資本金および資本準備金の額	資本金：250 億円、資本準備金：250 億円
5. 増資後の資本金および資本準備金の額	資本金：555 億円、資本準備金：424 億円
6. 増資後の出資比率	日本生命保険相互会社 100%

<劣後ローンの概要>

1. 貸出額	500 億円
2. 償還期限	期限なし（監督当局の事前承認等を前提として借入人の裁量により繰上償還可能）
3. 貸出日	2022 年 12 月 27 日（予定）

<日本生命の概要>

1. 名称	日本生命保険相互会社
2. 設立	1889 年
3. 本社所在地	大阪府大阪市中心区
4. 代表者	代表取締役社長：清水 博
5. 総資産	76 兆 5,674 億円
6. 従業員数	74,633 名

（2022 年 3 月末時点）

<ニッセイ・ウェルス生命の概要>

1. 名称	ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社
2. 設立	1907 年
3. 本社所在地	東京都品川区大崎（東京本社） 福岡県福岡市中央区（福岡本社）
4. 代表者	代表取締役社長：井本 満
5. 総資産	3 兆 4,770 億円
6. 従業員数	461 名

（2022 年 3 月末時点）

以 上